



鉄筋定着部の疲労試験

さまざまなサイズの各種鉄筋定着部について疲労試験を実施いたします。

鉄筋定着部の疲労試験概要

近年、端部にプレートナットおよびプレートを接合して、コンクリートとの接合性を向上させた形状の鉄筋の開発が進められています。接合部の疲労強度は、使用目的によっては製品の重要な特性となります。

当社では、鉄筋と定着具などの部品や、鉄筋とプレートなどの接合部の耐疲労強度を評価いたします。また、継手疲労試験に必要な治具の作製および試験条件もご提案いたします。

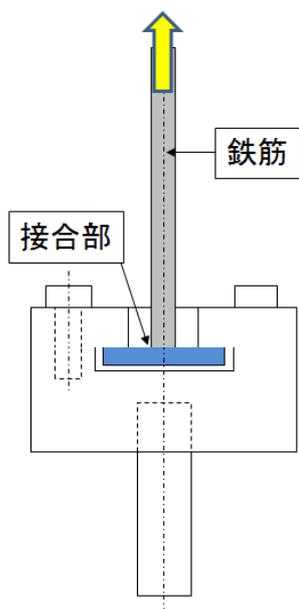


図1 鉄筋定着部の疲労試験模式図



写真1 鉄筋継手性能判定試験写真例

対応可能な鉄筋部材の試験仕様

- 試験機：50kN～2MN疲労試験機
- 鉄筋継手性能判定試験、定着具の性能評価試験の対応

対応呼び名	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄筋継手性能判定試験 D13～D51 ● 定着具の性能評価試験 D32～D51
対応種類	SD295～SD685
対応規格	<ul style="list-style-type: none"> ● 土木学会編 鉄筋定着・継手指針[2007年版] ● 建築物の構造関係技術基準解説書編集委員会編 2015年版 建築物の構造関係技術基準解説書 ● 日本建築総合試験所編 機械式鉄筋定着工法設計指針(2010年改定)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。